



《編集・発行》

相模原市農業委員会
相模原市中央区中央2丁目11番15号
Tel 042-769-8292 (直通)

農業のうごき

「タブレットを活用した農地パトロールの実践」

鈴木推進委員(上溝地区)

「農業法人による優良農地の拡大」

押田推進委員(左)、中里推進委員(城山地区)

農地利用最適化推進委員が活動事例を報告

「新たな視点による情報の共有、そして課題の解決へ」

井上推進委員(津久井地区)

「地域の歴史と近隣市町村のジビエ料理」

田所推進委員(新磯・相武台地区)

「新磯・相武台という地区で農業を考える」

2月8日に開催された第10回農地利用最適化推進委員連絡会で、農地利用最適化推進委員が「事例報告」を行いました。昨年8月以来2回目となる今回は、上溝地区「タブレットを使用した農地パトロールと上溝地区の特徴」、新磯・相武台地区「新磯・相武台地区の特色について」、城山地区「城山地区における農地の現状と課題及び大保戸、中沢原地区における法人の参入」、津久井地区「津久井地区における新規就農者の活動状況及び鳥獣被害とジビエ料理について」の4地区からの発表がありました。各地区の地域特性からみた視点をはじめ、他市町村で行われている新たな農業委員会活動の紹介や農業法人の参入事例なども報告され、活発な意見交換や情報共有の場となりました。今後も、様々な機会を捉え、農業委員、農地利用最適化推進委員の連携を図りながら、課題の解決に向けて取り組んでいきます。

農地利用最適化推進委員が活動事例を報告	1
農地等の利用の最適化の推進に関する意見等に対する回答説明会、農業委員会の活動、農業次世代人材投資事業	2
農政活動協力金集計結果、農業委員会総会開催予定、市内農地の賃借料情報、都市計画課からのお知らせ	3
がんばる若手農家さんの紹介No.7(鈴木篤史さん)、今旬♪レシピNo.6(ねぎとしらすの和風ポン酢パスタ他)	4

がんばる若手農家さんの紹介 No.7 ～相模原市 No.1 のねぎ専門農家を目指して～



鈴木 篤史さん

栽培しているねぎの品種

春：春扇
夏：羽緑一本太、夏扇4号
冬：関羽一本太

その他栽培品目

夏：きゅうり、なす、オクラ
冬：菜花

出荷先

ベジタバーな、相鉄ローゼン(横山台店)、Aコープ(城山店)

Q. 農業を志したきっかけはなんですか。

A. 中学校2年生の頃、学校の先生になす等の野菜を学校裏に植えるのを手伝って欲しいと言われて、興味本位でやってみたら、「これは、面白いぞ!」と思ったのがきっかけです。当時は、今なら農業を志す人はいないだろうと考えたのと、自分のダイエットのためにも「一石二鳥、いや三鳥だ!」と思いました。農業高校卒業後は、専門学校や各地の農家で研修をして、たまたま今の地主の方に次の担い手として声をかけられ、3年前に中央区田名に就農しました。

Q. 就農当時のエピソードや苦労することはなんですか。

A. 就農当時は資金がなかったので、自分がこれから農業を営んでいけるのか試すためにも機械は自分で購入せず、友人や地域の農家の方々に貸してもらったり、助けてもらいながらやってきました。日々、農業をやっていて、天候に左右されてしまうことに苦労します。特に、去年は、台風の大雨で水に浸かりねぎが出荷できなくなったり、冬は寒さで菜花が出荷できなくなってしまい大変でした。

Q. なぜ、ねぎ専門農家を目指そうと思ったのですか。

A. 相模原市内でねぎ専門農家がいなかったからです。特に、春や夏、ねぎを栽培している農家が少ないことや、きゅうり、なす、オクラは他の農家も栽培していて、市場が飽和状態で売れ残ってしまうこともあるからです。また、家庭でよく使用される作物なので、売り込むチャンスだと感じたからです。

Q. 今後の目標や抱負をお願いします。

A. 農家として自立できるように頑張り、地域で雇用を生んだり、農地を拡大して経営規模を大きくしていきたいです。最終的には、自分の栽培したねぎを多くの方々知ってもらい、相模原市内の人口に対して10%以上のシェアを誇るねぎ専門農家を目指します。

今旬♪レシピ No.6

今回は、がんばる若手農家鈴木篤史さんが育てているねぎの中で今旬の関羽一本太を使ったレシピを紹介します♪

本日の一品

ねぎとしらすの和風ポン酢パスタ



完成イメージ

作り方

- ①鍋に水を入れて、沸かす。
- ②ねぎを斜め薄切り、油揚げを油抜きして短冊切り、ちくわは5mm幅の輪切りにする。
- ③お湯が沸いた鍋に塩を入れ、パスタを茹でる。
- ④熱したフライパンにサラダ油を引き、唐辛子、ねぎ、油揚げ、ちくわ、しらすを入れる。その後、にんにくを加え、全体がしんなりするまで炒める。
- ⑤④に茹であがったパスタを入れ、よく和えたらポン酢を入れ全体に味を馴染ませる。
- ⑥皿に移したら、仕上げにきざみのりを全体にかけて、完成♪

材料(1人分)

ねぎ	半分	ポン酢	大さじ1.5
しらす	15g	輪切り唐辛子	適量
油揚げ	半分	チューブにんにく	適量
ちくわ	1本	きざみのり	適量
パスタ	100g	塩	小さじ2
サラダ油	大さじ2		

もう一品! すずきねぎ ねぎま風簡単レシピ

【材料】
ねぎ 半分
やきとり缶(たれ) 1缶
サラダ油 大さじ2

- ①フライパンにサラダ油を引き、4~5cm幅の輪切りにしたねぎを入れ、しんなりするまで炒める。
- ②①にやきとり缶の中身を全て入れ、全体を混ぜ合わせたら完成♪



♪平成29年度農政活動協力金集計結果♪

募金額 1,485,600円

昨年11月から12月にかけてご協力いただいた「神奈川県農業会議農政活動協力金」の募金について、集計結果を報告します。この募金は、県内の農業振興と農業者の経営向上のための農政活動等の資金として活用されます。ご協力ありがとうございました。

皆様のご協力ありがとうございました!!

～平成30年度～ 相模原市農業委員会総会開催予定

回数	日程	会場	回数	日程	会場
第26回	4月27日(金)	市役所 第2別館3階 第3委員会室	第32回	10月31日(水)	市役所 第2別館3階 第3委員会室
第27回	5月31日(木)		第33回	11月30日(金)	
第28回	7月2日(月)		第34回	12月27日(木)	
第29回	7月31日(火)		第35回	1月31日(木)	
第30回	8月28日(火)		第36回	2月26日(火)	
第31回	10月2日(火)		第37回	3月28日(木)	

※総会は原則午後1時30分から開催します。
※日程等は変更になる場合がありますので、農業委員会事務局にご確認ください。

市内農地の賃借料情報

昨年1月から12月までに締結された賃貸借における賃借料水準(10アール当たり)は、次のとおりです。
(賃借料:円/年/10アール)

田(水稲)	地域	平均額	最高額	最低額	データ数
	相模原市全域	6,700	14,100	4,500	5

(賃借料:円/年/10アール)

畑(普通畑)	地域	平均額	最高額	最低額	データ数
	相模原市全域	6,200	10,500	2,100	55

〈注意〉この賃借料は目安ですので、実際に契約を締結する時は、契約当事者間で十分に話し合って決定してください。

都市計画課からのお知らせ

生産緑地地区追加指定の相談と規模要件引下げ

相模原市では、相模原都市計画区域(旧相模原市及び旧城山町)において、平成30年度生産緑地地区に追加指定を希望される農地の相談を、**6月15日(金)**まで受け付けています。対象となるのは、市街化区域内の農地です。

なお、市では生産緑地法改正を受け、「500㎡以上」としていた生産緑地地区の規模要件を条例制定により「**300㎡以上**」に引下げました。(平成30年3月26日施行)

詳細は市ホームページをご覧ください。

【その他生産緑地法改正の主な内容】

○生産緑地地区内における建築規制の緩和(平成29年6月15日施行)

生産緑地地区内で許可を受けて建築できる施設として、ビニールハウス、農機具等の倉庫などに加え、以下の施設が追加されました。

- ①生産緑地内で生産された農産物等を主たる原材料とする製造・加工施設
- ②生産緑地内で生産された農産物等又は①で製造加工されたものを販売する施設
- ③生産緑地内で生産された農産物等を主たる材料とするレストラン

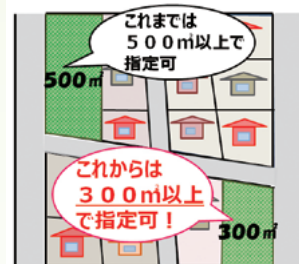
※設置要件、用途地域の制限などにより建築できない場合があります。

※設置による固定資産税等の税額や相続税の納税猶予などへの影響にご注意ください。

○特定生産緑地制度の創設(平成30年4月1日施行)

市に買取り申出ができる時期は、「主たる従事者が死亡又は故障に至った場合」のほか「生産緑地地区の都市計画決定の告示日から30年経過した場合」とされてきましたが、所有者等の意向を踏まえ、市が「特定生産緑地」として指定することで10年延長することができるようになりました。詳細については、国の動向等を注視し、随時お知らせする予定です。

★その他ご不明点については、都市計画課(042-769-8247)までお願いします。



平成30年度相模原市農地等の利用の最適化の推進に関する意見等に対する回答説明会

2月15日に、「平成30年度相模原市農地等の利用の最適化の推進に関する意見」等に対する回答説明会が行われました。これは、昨年8月30日に市長に提出した農地利用の最適化の推進に必要な意見や要望(農業のうごき「第30号」)に対しての市からの回答の説明で、出席した農業委員会の各委員は、回答に対して更なる意見や質問を投げかけました。提出した意見・要望に対する回答の概要は次のとおりです。(詳細は、ホームページに掲載する予定です。)

- 意見**
- 1. 遊休農地の発生防止・解消について**
 - 鳥獣被害対策を一体的及び総合的に行うことについては、現在「鳥獣被害防止計画」の策定に取り組んでおり、事業の実施に当たっては、「相模原市鳥獣被害対策協議会」を設置して取り組んでいく。
 - 県二ホンザル管理計画に基づく事業の確実な実施については、年度ごとに策定される「二ホンザル管理事業実施計画」に基づき取り組んでいく。
 - 2. 担い手への農地の集積・集約化について**
 - 中山間地域における新たな圃場整備の検討については、農業振興地域整備計画の策定の中で検討する。
 - 大日野原圃場への進入路の整備については、既存進入路の安全対策と車両の安全通行を確保していく。
 - 3. 新規参入の促進について**
 - 定住促進のためのあっせんや家賃補助等の支援は、農業者のニーズを確認した上で研究していく。
 - 女性が活動するための就農環境の整備については、可能な範囲で要望に沿った対応を引き続き行っていく。
 - 学校給食における出荷支援対策などの充実については、現在も関係者による定期的な会議や調整、学校と農業者間の情報交換会を実施しており、今後も新規就農者への出荷対策支援を検討していく。

- 要望**
- 1. 地場農産物の販路拡大等について**
 - 直売所等の活用による販路拡大の支援については、関係団体等と連携しながら活用方法を検討していく。また、商談会の実施により販路の拡大・確保に努めていく。
 - 直売所への相互出荷については、両農協から課題が多く困難であるとの回答を受けている。
 - 販売所がない地域の提供の場の設置については、関係団体等と連携し購入機会の確保について検討していく。
 - 大型商業施設等での敷地やインショップ方式の活用については、商業関係者と農業者のマッチングを図り、販路拡大に繋げていく。
 - 2. 生産緑地制度について**
 - 必要な情報の発信については、広報さがみはら等の媒体の活用とともに、関係団体を通じて周知を図っていく。
 - 優良農地については、優位性を生かした観光型農園や農家開設型市民農園の設置などを通じて、若い世代の農業への参画につなげるにより、保全していきたい。

農業委員会では、毎年県や市へ農業に関する意見、要望を提出していますので、各地区の農業委員、農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局へ皆様の意見をお寄せください。

相模原市農業委員会の活動 —「全国農業新聞」や「農政時報」に活動記事が掲載されました—

農業委員会会長事務局長会議

事例報告

2月7日に開催された、第2回農業委員会会長事務局長会議における事例報告で、高橋会長が、本市の農業委員会活動を紹介しました。これは、新規就農者や各農業協同組合との意見交換による情報共有や連携などにより農地利用の最適化の推進を進めていることや、農業委員と農地利用最適化推進委員の連携を図るための組織や会議体制など、独自の観点による活発な活動事例が「全国農業新聞」及び「農政時報」で紹介されたことによるものです。出席した他市町村の会長や事務局長らは、自らが抱える農業委員会の課題の解決の参考とするため熱心に聞き入っていました。

大網白里市農業委員会が 本市農業委員会を視察!

2月15日、相模原市農業委員会の活動に着目した千葉県大網白里市農業委員会が、関係機関や新規就農者との情報交換、農地利用最適化推進委員の活動などを今後の運営の参考とするため、本市を視察に訪れました。

八木副会長からの活動概要の説明の後、農業委員と農地利用最適化推進委員との連携や遊休農地の発生防止・解消など、様々な観点での両農業委員会による活発な意見交換の場となりました。



新規就農者をサポートします! —農業次世代人材投資事業—

次世代の農業者を志す新規就農者が、地域の中心的な農業経営者となれるまでをフォローアップするサポート体制が発足しました。市による経済支援をはじめ、県農業技術センター、農協、農業委員会等が「経営・技術」、「営農・資金」、「農地」の観点からサポートします。

農業委員会からは、今回対象となる新規就農者の営農地区の担当として、相模湖地区の江藤推進委員が選任されました。

